

# 香川県のがん統計

がん罹患統計2016

がん死亡統計2017



令和2年1月

香川県健康福祉部健康福祉総務課

**<データをご覧いただく際の注意点>**

- ・実際の診療に用いられている病期と異なる国際病期分類で集計しています。
- ・本データは、厚生労働省が指定する集計期間内に、病院又は指定された診療所から届出されたがん情報を集計しており、集計期間後に届出されるケースや、届出されず把握できないケースがあることなどから、真のがんの罹患者数を反映しているわけではありません。
- ・がん登録の精度(完全性)は都道府県によって異なるため、そのままのデータで、他の地域との比較や経年比較を行うと、誤ったがん統計の解釈につながる可能性があります。

# 目 次

## I が ん 登 録 統 計

1. 届出件数・届出医療機関数の推移	1
2. 精 度 指 標	3
3. 集 計 結 果	
(1) 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率（総数）	4
(2) 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率（男性）	5
(3) 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率（女性）	6
(4) 市町村別罹患者数、粗罹患率の状況	9
(5) 年齢階級別罹患率	10
(6) 年齢階級別罹患率 [香川県と全国の比較]	12
(7) 発 見 経 緯	14
(8) 進展度	16
(9) 初回治療内容割合	17
(10) 外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲	18
(11) 5年相対生存率	19

## II が ん 死 亡 統 計

1. がん死亡数の推移	21
2. がんの年齢調整調整死亡率	23
3. 主な部位別年齢調整死亡率	24

# I がん登録統計

## 1. 届出件数・届出医療機関数の推移

香川県では1999年より地域がん登録事業を開始しており、当初は届出件数が少なかったものの、年々件数が増加し、2011年には1万件を超える件数となった。

2016年症例から全国がん登録に移行し、2017年4月から、国立がん研究センターが運営する「がん登録オンラインシステム」を利用して、オンラインで全国がん登録の届出ができるようになった。届出件数は、2017年で12,714件、2018年で12,496件であった。

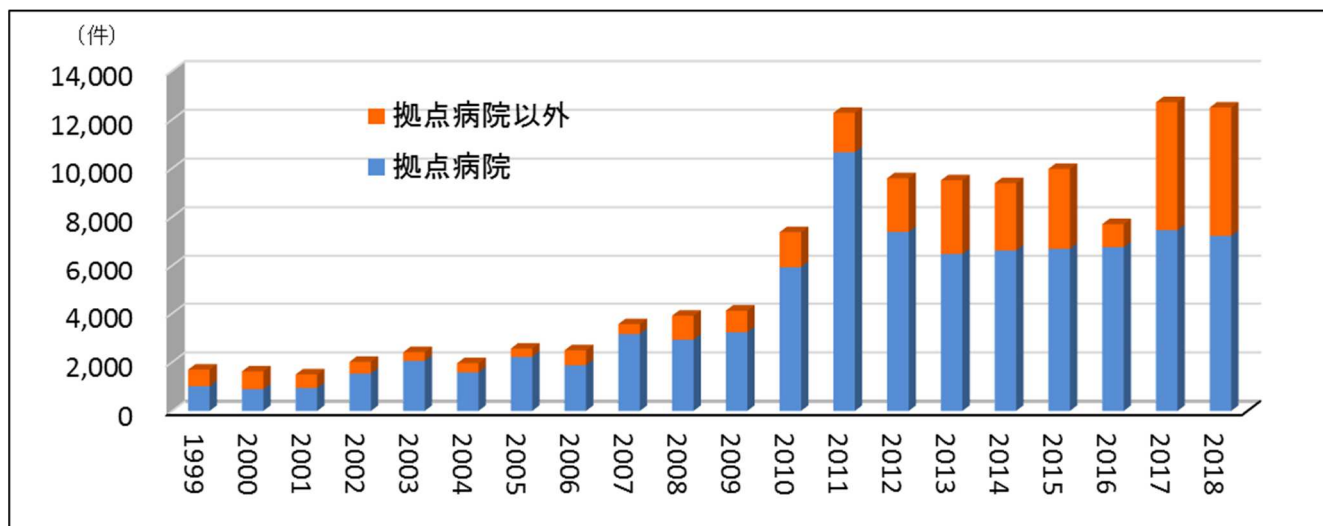
表1 届出件数・届出医療機関数の推移

年次	届出件数			届出医療機関数			
	総数	がん診療 連携拠点病院	その他の 県内医療機関	その他	総数	がん診療 連携拠点病院	その他の 県内医療機関
1999	1696	1012	515	169	28	4	24
2000	1622	892	646	84	22	5	17
2001	1498	940	476	82	20	5	15
2002	2014	1529	398	87	17	5	12
2003	2409	2053	322	34	16	5	11
2004	1956	1578	363	15	12	4	8
2005	2554	2213	325	16	13	4	9
2006	2487	1874	600	13	12	4	8
2007	3556	3153	402	1	17	5	12
2008	3903	2918	975	10	19	5	14
2009	4111	3225	882	4	18	4	14
2010	7375	5935	1321	119	21	5	16
2011	12276	10656	1540	80	22	5	17
2012	9589	7379	1997	213	75	5	70
2013	9507	6477	2872	158	95	5	90
2014	9386	6618	2647	121	95	5	90
2015	9973	6690	2992	291	87	5	82
2016	7703	6755	680	268	33	5	28
2017	12714	7454	5132	128	46	5	41
2018	12496	7223	5272	1	39	5	34

がん診療連携拠点病院等

香川大学医学部附属病院、三豊総合病院、県立中央病院、香川労災病院、高松赤十字病院

図1 届出件数の推移



## 2. 精度指標

がん登録の精度指標は表 2 のとおりである。届出件数の増加に伴い、精度も近年高い水準である。

なお、2007 年以前の精度については、県独自方式で構築した死亡データからの登録ができないシステムであり、精度指標の算出はできない。

表2 精度指標

年次 (罹患年)	DCN (~2015) DCI (2016~)	DCO	M/I 比
2008	35.9	28.4	0.45
2009	26.1	14.8	0.40
2010	22.8	4.3	0.42
2011	19.8	4.7	0.39
2012	17.6	6.5	0.41
2013	9.6	5.4	0.43
2014	8.6	4.8	0.41
2015	15.2	8.1	0.73
2016	4.3	3.4	0.34

### がん登録の精度指標

地域がん登録は、医療機関からのがんの届出と、人口動態統計の死亡者情報票を主な情報源としている。

DCN (Death Certificate Notification) : 死亡診断書で初めて把握されたがんの割合。DCN が存在することは、届出が漏れており、生存しているために登録室で把握されていない患者が存在することを示唆し、DCN が高ければ登録の完全性が低い（登録漏れが多い）ことが推察される。死亡診断書には作成した医師の氏名が記載されているので、これを手がかりにがんの情報を医師に求めることができる。これが遡り調査と呼ばれるものである。

DCI (Death Certificate initiated) : 死亡診断書を契機に登録されたがんの割合（DCN のうち遡り調査の結果がんではなかった者を除いた割合）。平成 28 年登録データから、統計手法が変更され、DCN に代わって DCI が用いられるようになったが、望ましい水準は変わらない

DCO (Death Certificate Only) : 死亡情報のみで登録されたがんの割合。遡り調査を全て完全に行うと、DCO は 0 になる。国際的な水準では、DCO は 10% 以下であることが求められる。

M/I 比 (Mortality/Incidence Ratio) : 死亡数と罹患数の比のことであり、現在の日本のがん患者さんの生存率に基づいた場合、全がんで 0.4~0.45 程度が妥当と考えられている。（国立がん研究センターホームページより）

### 3. 集計結果

#### (1) 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率（総数）

総数での罹患の状況は、罹患数・粗罹患率について多い方から胃、肺、大腸、前立腺、乳房という順になっている。また、全国の粗罹患率は、大腸、胃、肺、乳房、前立腺という順となっている。

表3 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率（総数・2016）

総数	罹患数	粗罹患率 (10万人あたり)	年齢調整罹患率 (10万人あたり)
全部位	8,938	918.6	436.7
口腔・咽頭	153	15.7	9.4
食道	180	18.5	8.9
胃	1,276	131.1	56.0
大腸(結腸・直腸)	1,188	122.1	53.6
結腸	769	79.0	32.9
直腸	419	43.1	20.6
肝および肝内胆管	430	44.2	17.9
胆のう・胆管	194	19.9	7.2
膵臓	347	35.7	14.3
喉頭	59	6.1	2.6
肺	1,219	125.3	49.9
皮膚	241	24.8	9.9
乳房	752	77.3	52.9
子宮	217	—	—
子宮頸部	81	—	—
子宮体部	131	—	—
卵巣	95	—	—
前立腺	931	—	—
膀胱	205	21.1	7.6
腎・尿路(膀胱除く)	276	28.4	13.1
脳・中枢神経系	47	4.8	2.7
甲状腺	207	21.3	17.4
悪性リンパ腫	355	36.5	18.3
多発性骨髄腫	74	7.6	2.9
白血病	140	14.4	9.0

(参考)全国（総数・2016）

総数	罹患数	粗罹患率 (10万人あたり)	年齢調整罹患率 (10万人あたり)
全部位	995,131	784.0	402.0
口腔・咽頭	21,601	17.0	9.5
食道	25,845	20.4	10.2
胃	134,650	106.1	48.2
大腸(結腸・直腸)	158,127	124.6	61.4
結腸	104,901	82.6	38.5
直腸	53,226	41.9	22.9
肝および肝内胆管	42,762	33.7	14.7
胆のう・胆管	22,828	18.0	6.8
膵臓	40,617	32.0	14.1
喉頭	5,285	4.2	2.0
肺	125,454	98.8	44.4
皮膚	24,507	19.3	8.2
乳房	95,525	75.3	52.3
子宮	28,076	—	—
子宮頸部	11,283	—	—
子宮体部	16,304	—	—
卵巣	13,388	—	—
前立腺	89,717	—	—
膀胱	23,422	18.5	7.7
腎・尿路(膀胱除く)	29,152	23.0	11.9
脳・中枢神経系	6,227	4.9	3.6
甲状腺	18,807	14.8	11.2
悪性リンパ腫	34,240	27.0	14.4
多発性骨髄腫	7,525	5.9	2.7
白血病	13,789	10.9	7.2

(2) 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率（男性）

男性での罹患の状況は、罹患数・粗罹患率について多い方から前立腺、胃、肺、大腸、肝臓という順になっている。また、全国の粗罹患率は、胃、前立腺、大腸、肺、肝臓という順となっている。

表4 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率(男・2016)

男	罹患数	粗罹患率 (10万人あたり)	年齢調整罹患率 (10万人あたり)
全部位	5,232	1110.8	514.8
口腔・咽頭	111	23.6	15.1
食道	151	32.1	15.9
胃	874	185.6	83.8
大腸(結腸・直腸)	676	143.5	65.9
結腸	426	90.4	40.6
直腸	250	53.1	25.2
肝および肝内胆管	296	62.8	28.0
胆のう・胆管	94	20.0	7.5
膵臓	171	36.3	16.4
喉頭	55	11.7	5.4
肺	818	173.7	74.4
皮膚	134	28.5	12.6
前立腺	931	<b>197.7</b>	<b>82.9</b>
膀胱	166	35.2	14.2
腎・尿路(膀胱除く)	179	38.0	19.1
脳・中枢神経系	25	5.3	3.5
甲状腺	56	11.9	10.7
悪性リンパ腫	189	40.1	21.0
多発性骨髄腫	33	7.0	3.1
白血病	81	17.2	10.8

(参考)全国(男・2016)

男	罹患数	粗罹患率 (10万人あたり)	年齢調整罹患率 (10万人あたり)
全部位	566,575	917.3	469.8
口腔・咽頭	15,205	24.6	14.4
食道	21,431	34.7	18.2
胃	92,691	150.1	73.9
大腸(結腸・直腸)	89,641	145.1	77.5
結腸	56,016	90.7	46.4
直腸	33,625	54.4	31.1
肝および肝内胆管	28,480	46.1	22.8
胆のう・胆管	12,052	19.5	8.8
膵臓	20,856	33.8	17.0
喉頭	4,892	7.9	4.0
肺	83,790	135.7	65.3
皮膚	12,238	19.0	9.5
前立腺	89,717	<b>145.3</b>	<b>68.3</b>
膀胱	17,719	28.7	13.3
腎・尿路(膀胱除く)	19,794	32.0	18.0
脳・中枢神経系	3,404	5.5	4.1
甲状腺	4,772	7.7	5.7
悪性リンパ腫	18,295	29.6	16.7
多発性骨髄腫	3,894	6.3	3.1
白血病	8,143	13.2	8.9



(3) 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率(女性)

女性の罹患状況は、罹患数・粗罹患率について多い方から乳房、大腸、胃、肺、子宮という順になっている。また、全国の粗罹患率は、乳房、大腸、胃、肺、子宮という順となっている。

表5 部位別罹患数・粗罹患率・年齢調整罹患率(女・2016)

女	罹患数	粗罹患率 (10万人あたり)	年齢調整罹患率 (10万人あたり)
全部位	3,706	738.2	377.8
口腔・咽頭	42	8.4	4.0
食道	29	5.8	2.7
胃	402	80.1	31.9
大腸(結腸・直腸)	512	102.0	43.2
結腸	343	68.3	26.5
直腸	169	33.7	16.7
肝および肝内胆管	134	26.7	9.1
胆のう・胆管	100	19.9	7.1
膵臓	176	35.1	12.3
喉頭	4	0.8	0.2
肺	401	79.9	29.3
皮膚	107	21.3	7.6
乳房	748	149.0	103.4
子宮	217	43.2	33.3
子宮頸部	81	16.1	13.8
子宮体部	131	26.1	19.2
卵巣	95	18.9	14.8
膀胱	39	7.8	2.1
腎・尿路(膀胱除く)	97	19.3	7.7
脳・中枢神経系	22	4.4	1.9
甲状腺	151	30.1	24.0
悪性リンパ腫	166	33.1	16.1
多発性骨髄腫	41	8.2	2.7
白血病	59	11.8	7.4

(参考)全国(女・2016)

女	罹患数	粗罹患率 (10万人あたり)	年齢調整罹患率 (10万人あたり)
全部位	428,499	657.5	354.1
口腔・咽頭	6,396	9.8	5.1
食道	4,414	6.8	3.3
胃	41,959	64.4	26.5
大腸(結腸・直腸)	68,476	105.1	47.3
結腸	48,883	75.0	31.8
直腸	19,593	30.1	15.5
肝および肝内胆管	14,274	21.9	7.7
胆のう・胆管	10,774	16.5	5.3
膵臓	19,760	30.3	11.6
喉頭	393	0.6	0.3
肺	41,634	63.9	27.2
皮膚	12,269	18.8	7.1
乳房	94,848	145.5	102.3
子宮	28,076	43.1	33.3
子宮頸部	11,283	17.3	14.5
子宮体部	16,304	25.0	18.6
卵巣	13,38	20.5	15.9
膀胱	5,703	8.8	3.0
腎・尿路(膀胱除く)	9,357	14.4	6.5
脳・中枢神経系	2,824	4.3	3.1
甲状腺	14,035	21.5	16.7
悪性リンパ腫	15,945	24.5	12.5
多発性骨髄腫	3,631	5.6	2.3
白血病	5,646	8.7	5.7

図2 罹患割合(%); 部位別 男性

2016年

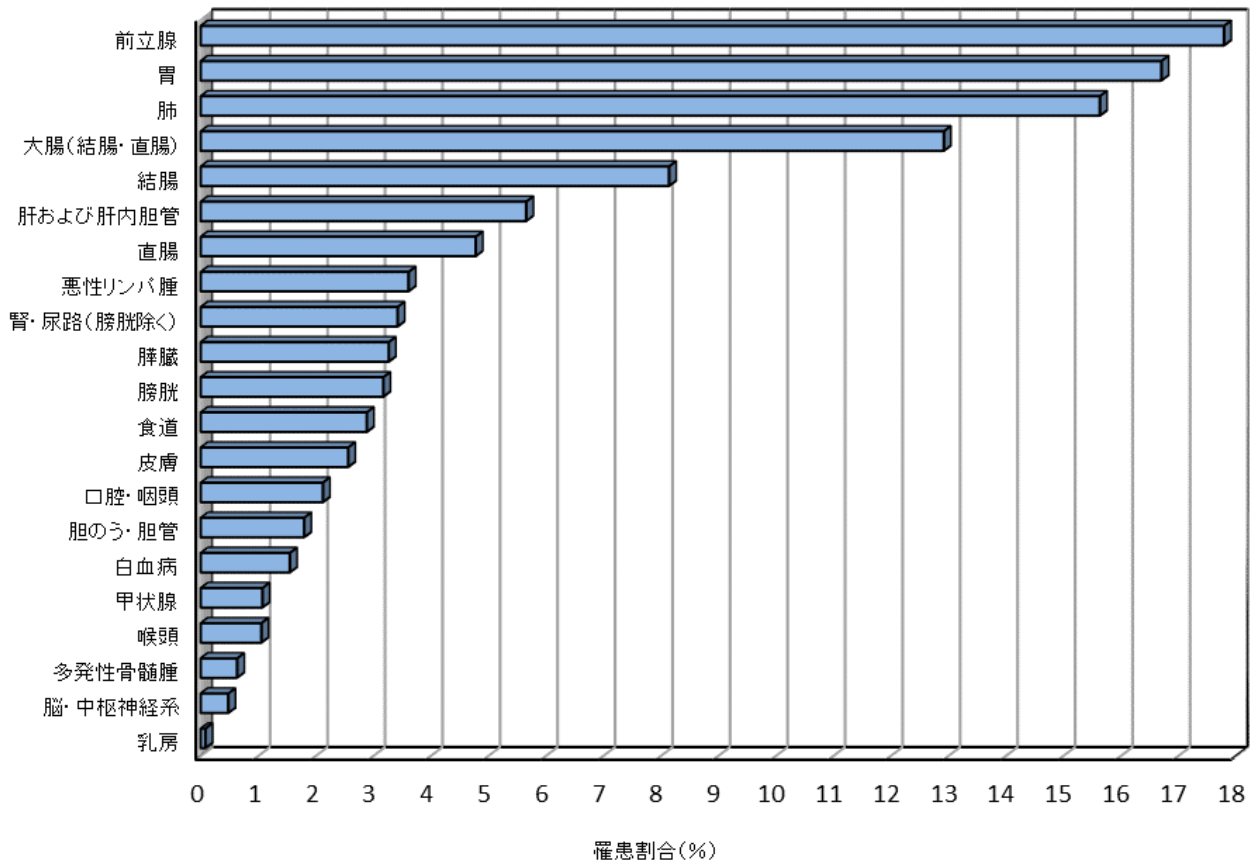


図3 罹患割合(%); 部位別 女性

2016年

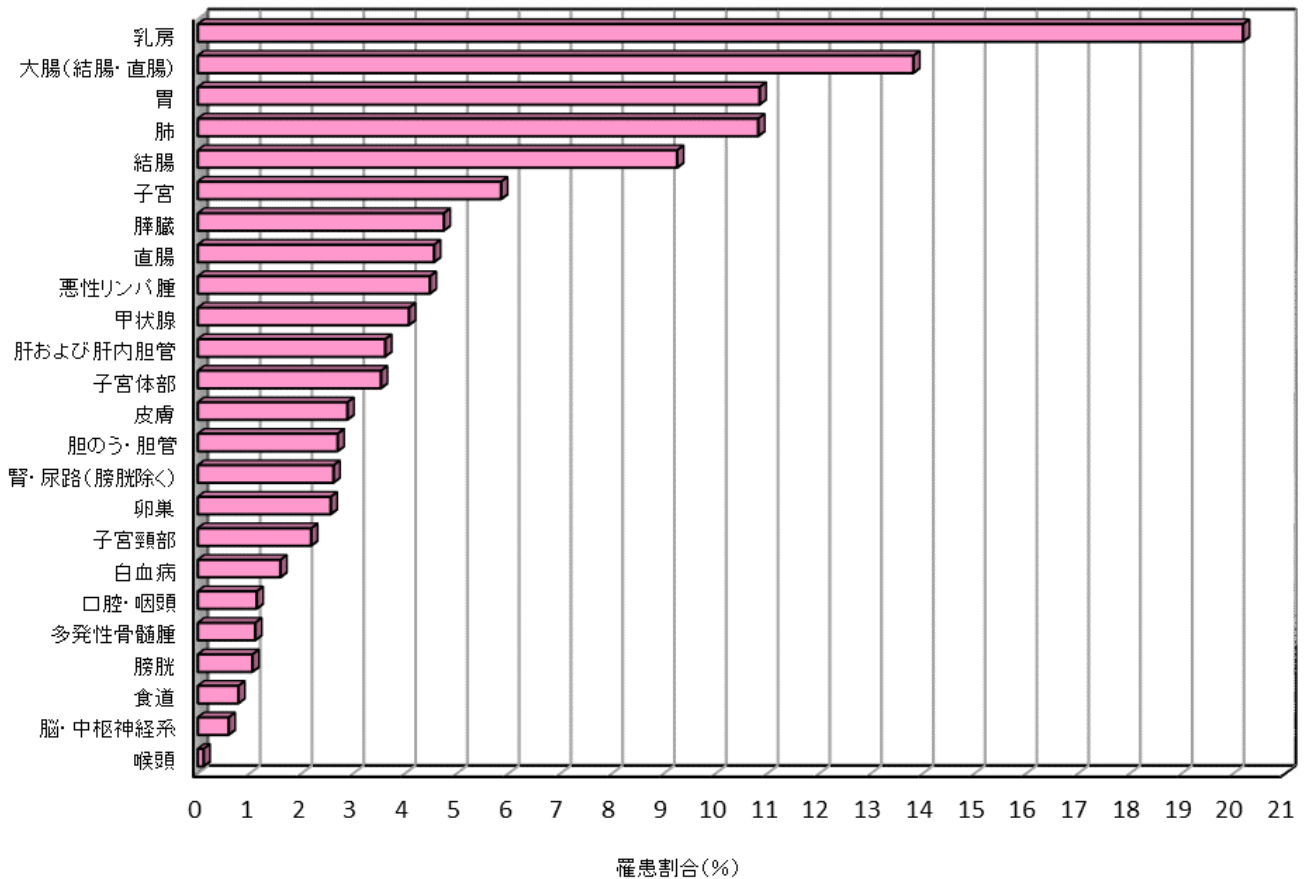
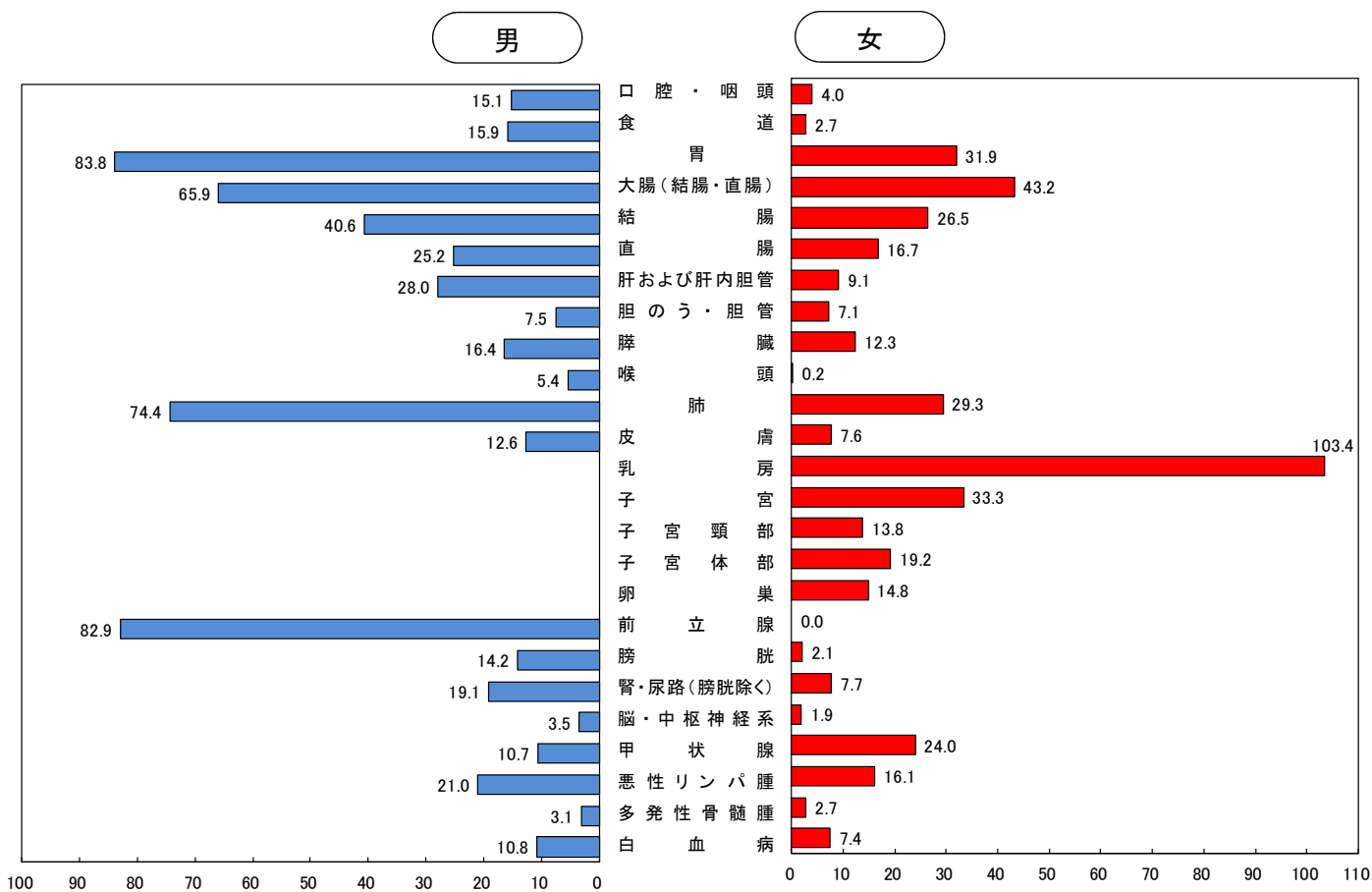
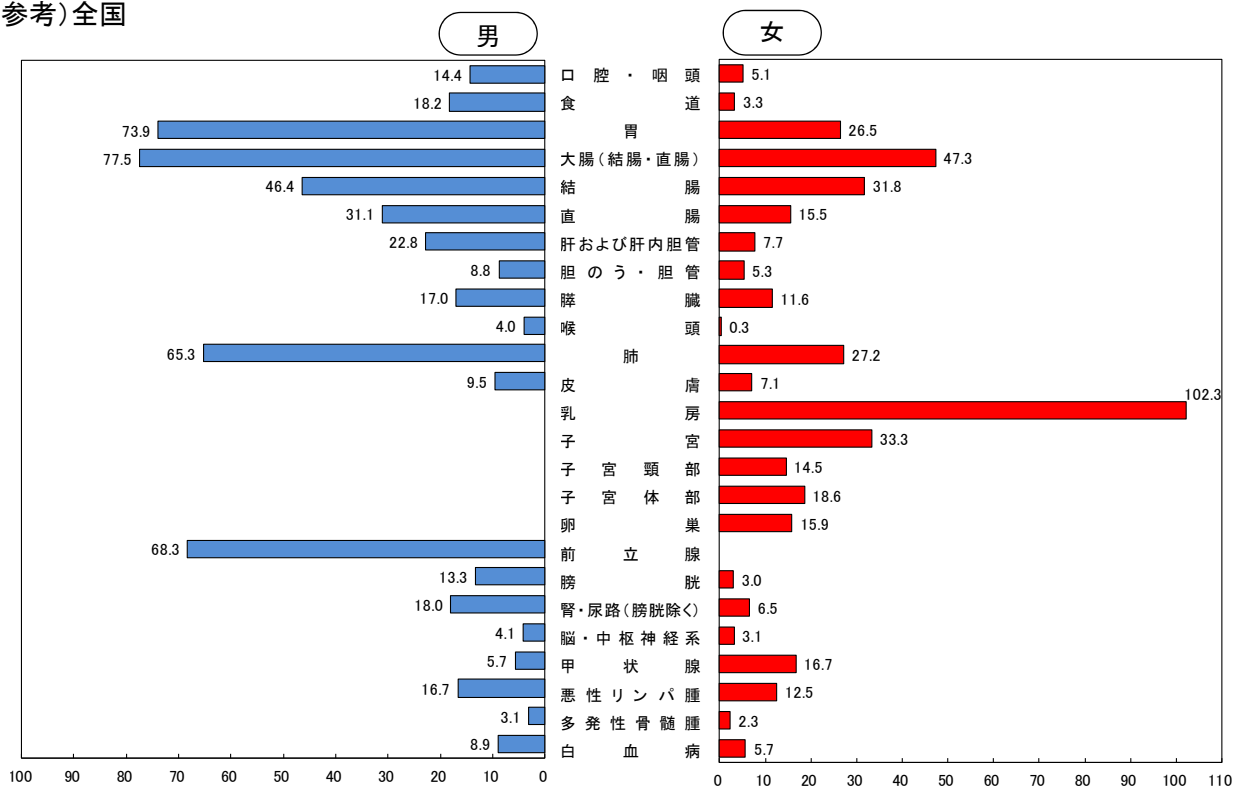


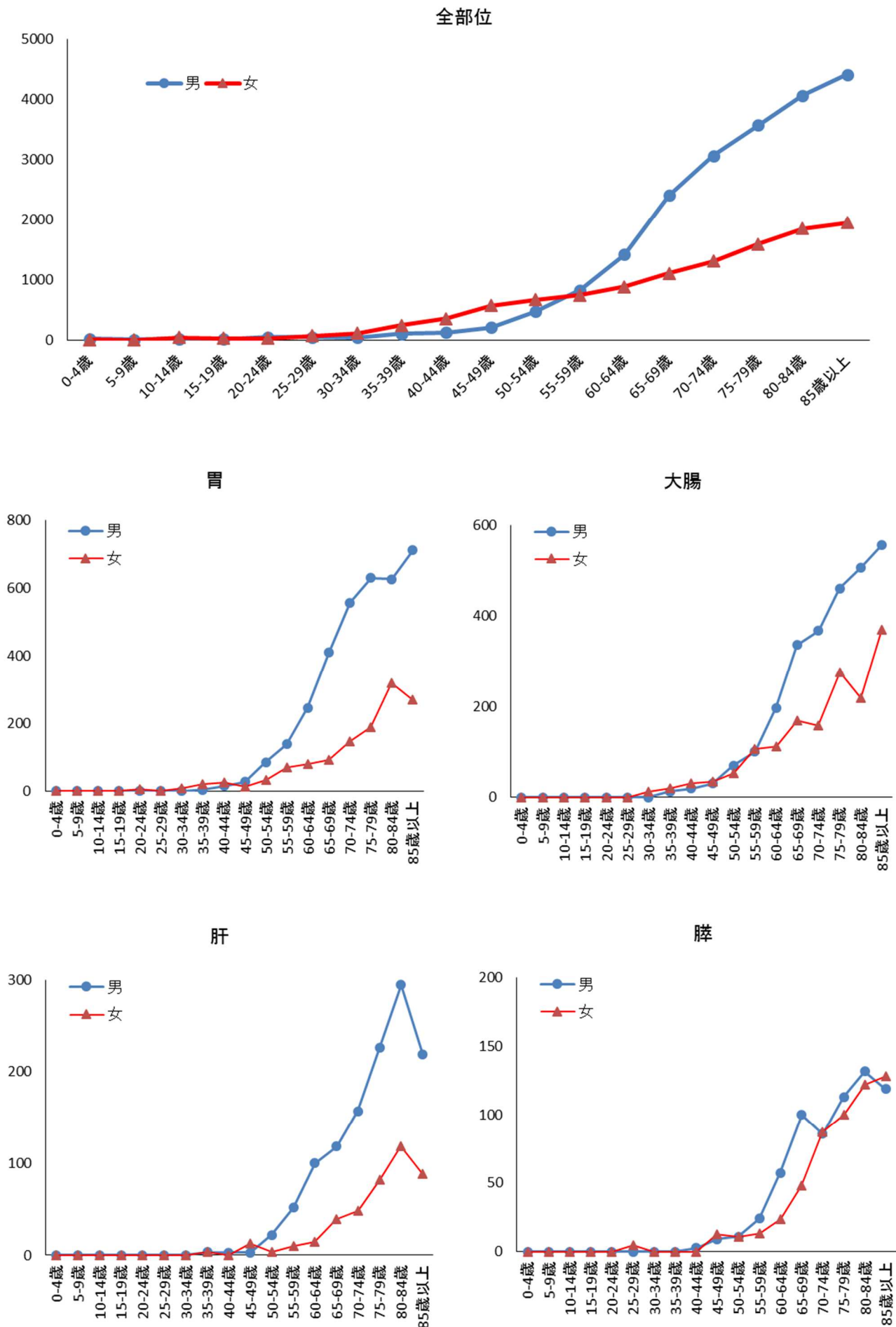
図4 部位別、男女別の年齢調整罹患率（人口10万対）



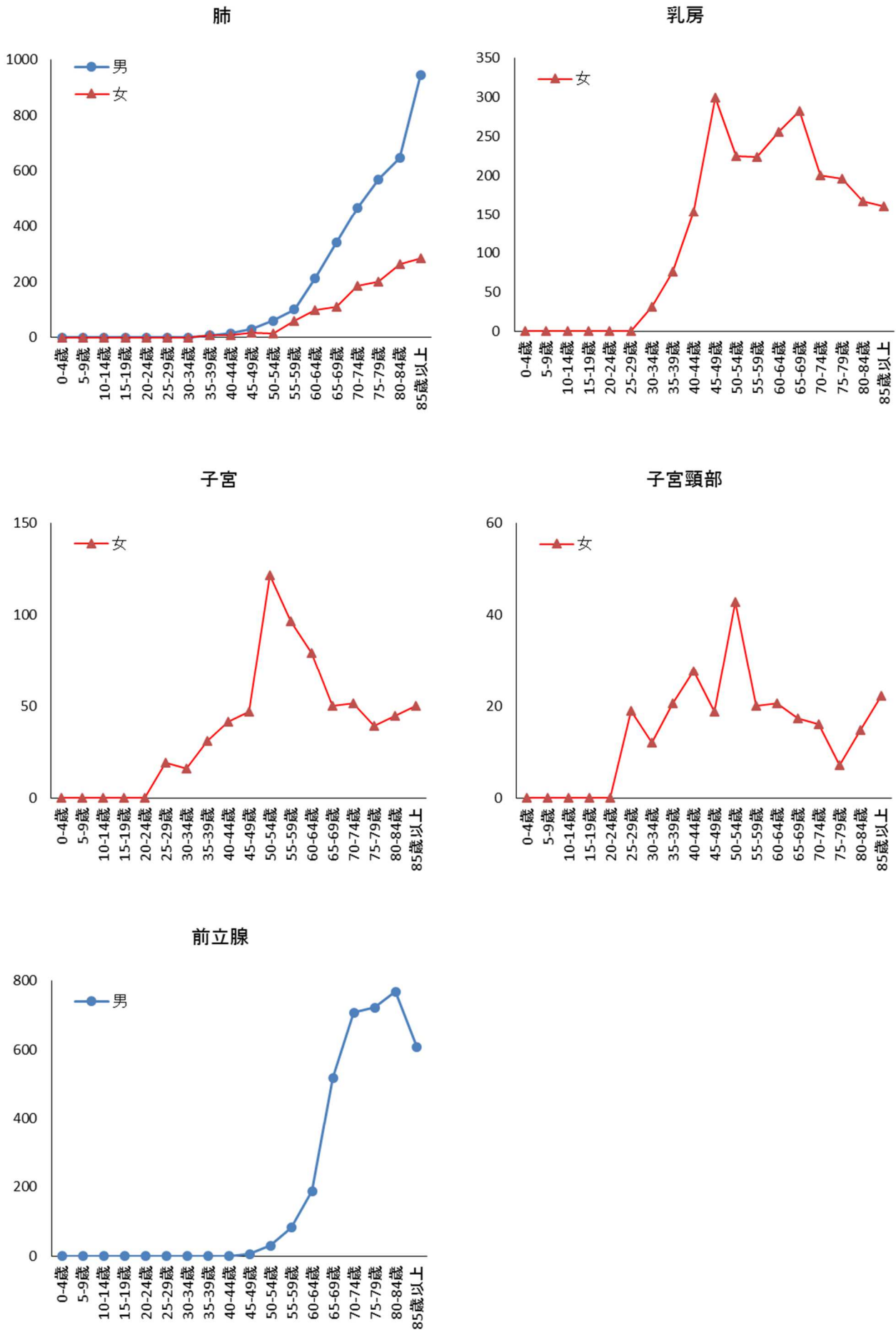
(参考)全国



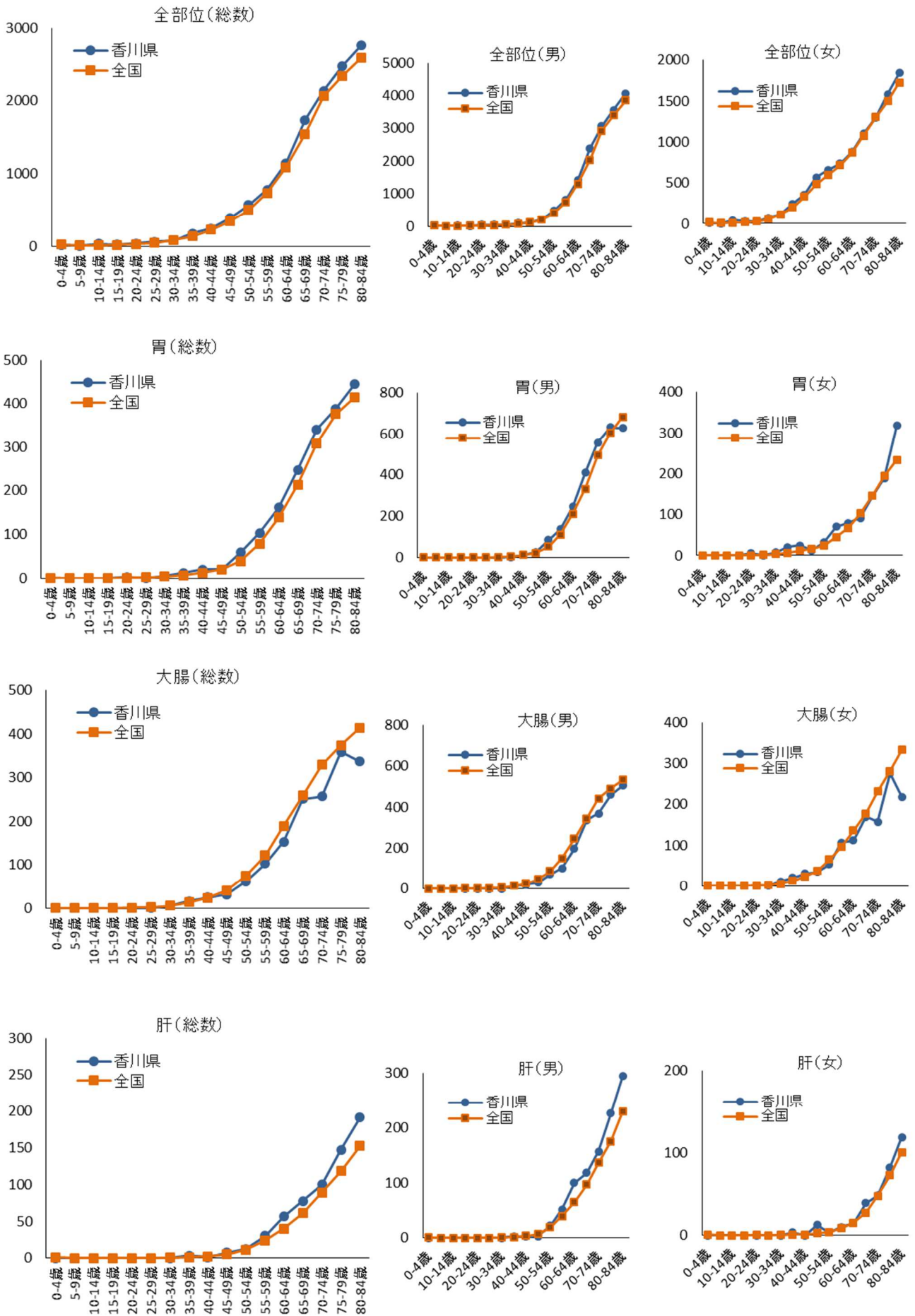
(4) 年齢階級別罹患率（上皮内がんを除く、人口10万対）全部位～膵（図5-1）



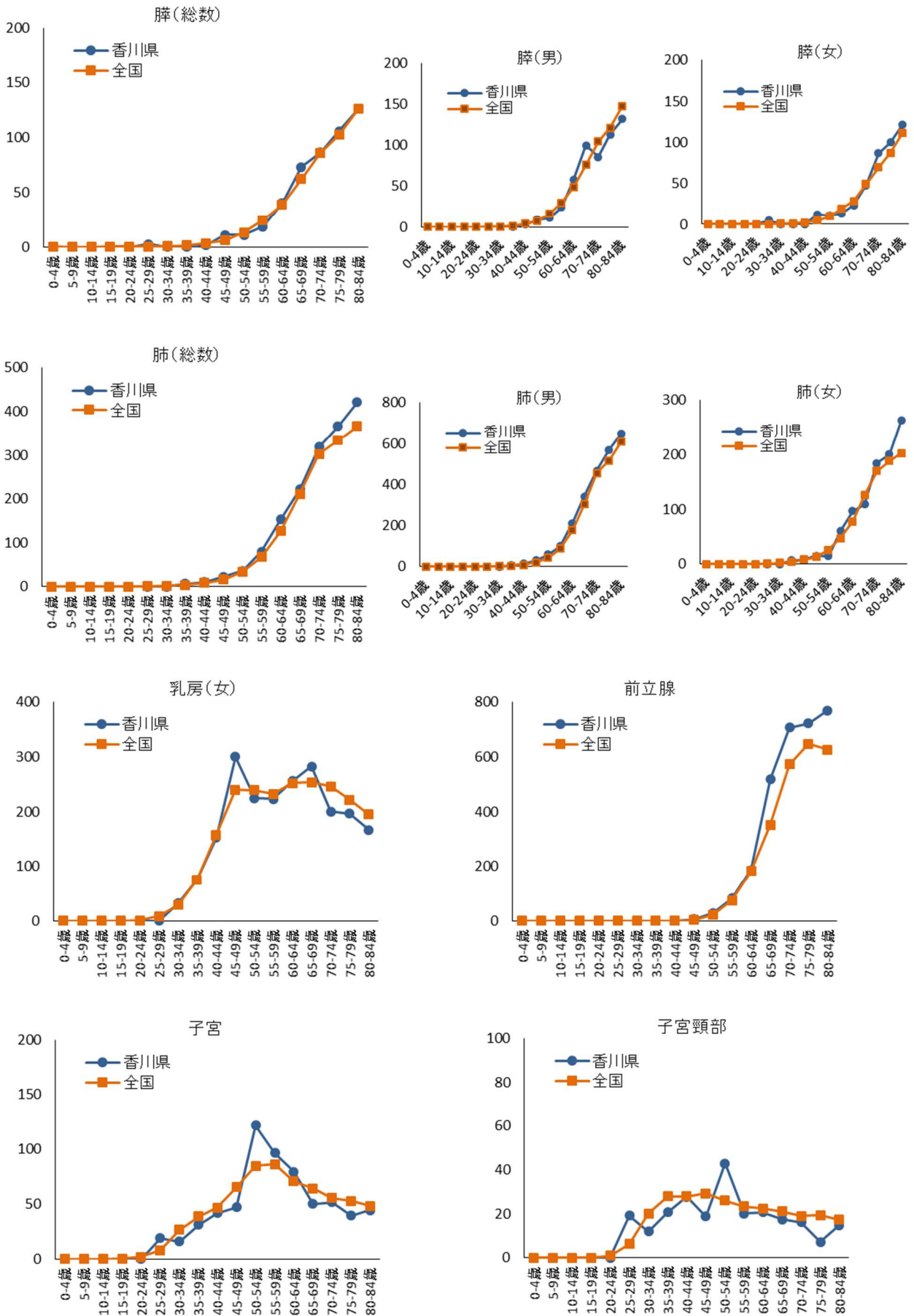
(4) 年齢階級別罹患率（上皮内がんを除く、人口10万対）肺～前立腺（図5-2）



(5) 年齢階級別罹患率〔香川県と全国の比較〕（上皮内がんを除く、人口10万対）  
 全部位～肝（図6-1）



(5) 年齢階級別罹患率〔香川県と全国の比較〕（上皮内がんを除く、人口10万対）  
 膵～子宮頸部（図6-2）



## (6) 発見経緯

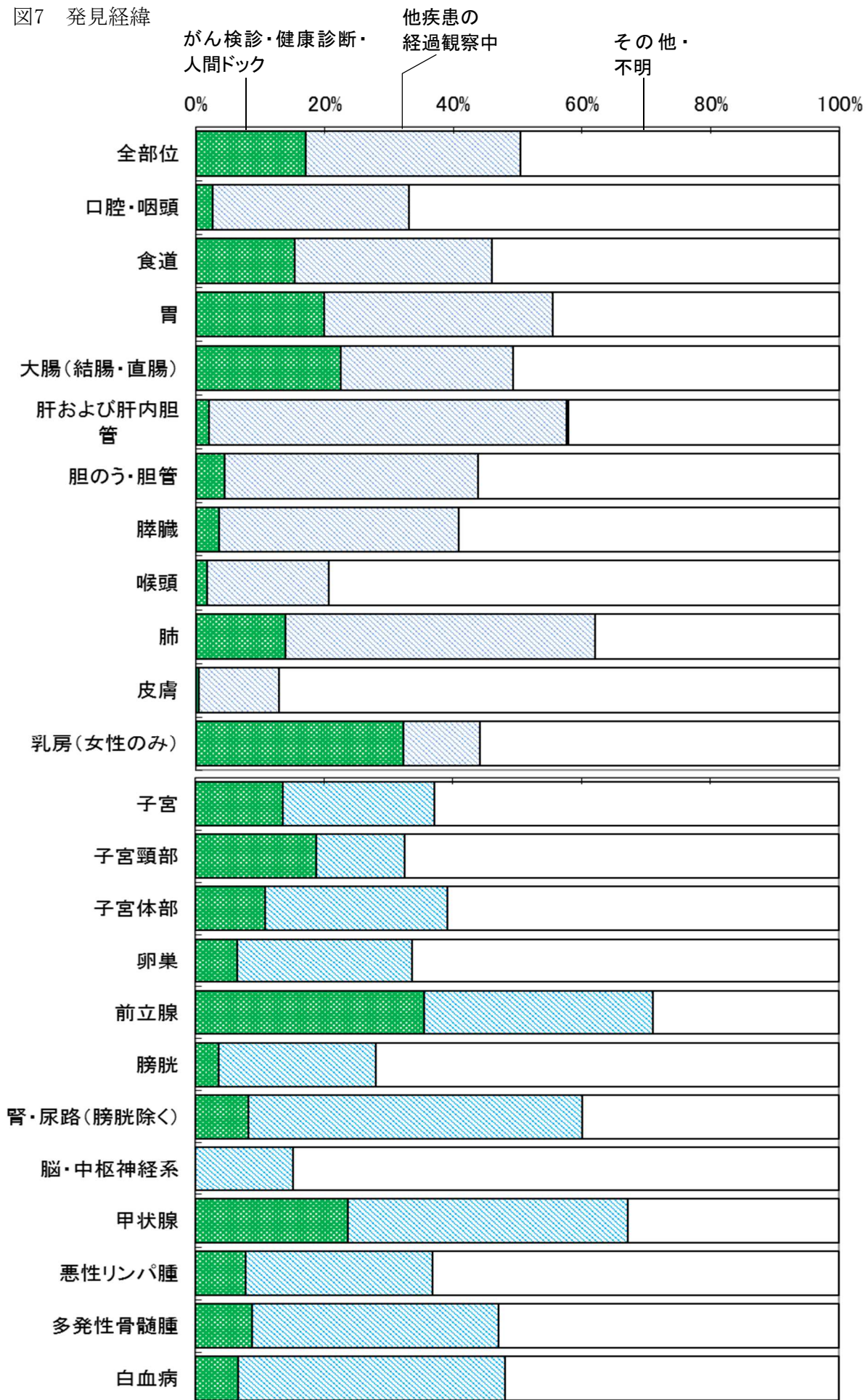
発見経緯について、ほとんどの部位において、「その他」の項目を除いて、「他疾患の経過観察中」で発見されている。

表6 発見経緯(%)

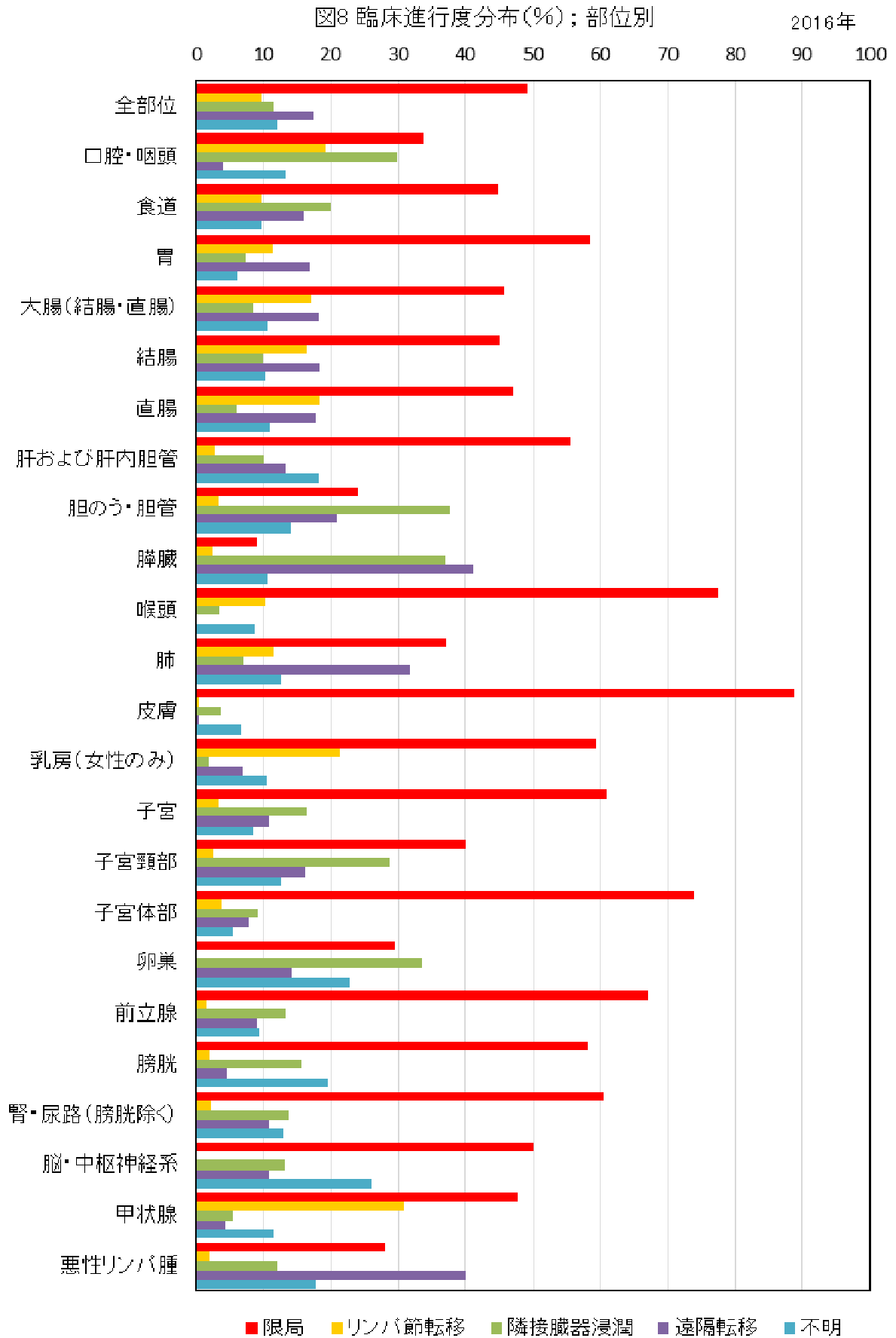
部位	集計対象数	発見経緯割合 (香川県)				
		がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患の経過観察中	剖検発見	その他	不明
全部位	8631	17.0	33.4	0.0	42.8	6.8
口腔・咽頭	151	2.6	30.5	0.0	60.9	6.0
食道	176	15.3	30.7	0.0	48.3	5.7
胃	1236	20.0	35.5	0.0	41.6	2.9
大腸(結腸・直腸)	1152	22.5	26.7	0.1	45.8	4.9
結腸	743	22.5	29.2	0.1	44.3	3.9
直腸	409	22.5	22.2	0.0	48.7	6.6
肝および肝内胆管	394	2.0	55.6	0.3	33.5	8.6
胆のう・胆管	178	4.5	39.3	0.0	50.6	5.6
膵臓	331	3.6	37.2	0.0	55.3	3.9
喉頭	58	1.7	19.0	0.0	72.4	6.9
肺	1152	14.0	48.1	0.0	31.3	6.6
皮膚	241	0.4	12.4	0.0	85.1	2.1
乳房(女性のみ)	739	32.2	11.9	0.0	47.6	8.3
子宮	213	13.6	23.5	0.0	58.2	4.7
子宮頸部	80	18.8	13.8	0.0	62.5	5.0
子宮体部	130	10.8	28.5	0.0	56.2	4.6
卵巣	92	6.5	27.2	0.0	47.8	18.5
前立腺	913	35.5	35.6	0.0	20.6	8.3
膀胱	193	3.6	24.4	0.0	60.6	11.4
腎・尿路(膀胱除く)	266	8.3	51.9	0.0	30.5	9.4
脳・中枢神経系	46	0.0	15.2	0.0	73.9	10.9
甲状腺	207	23.7	43.5	0.0	23.7	9.2
悪性リンパ腫	345	7.8	29.0	0.0	54.8	8.4
多発性骨髄腫	68	8.8	38.2	0.0	42.6	10.3
白血病	135	6.7	41.5	0.0	48.9	3.0



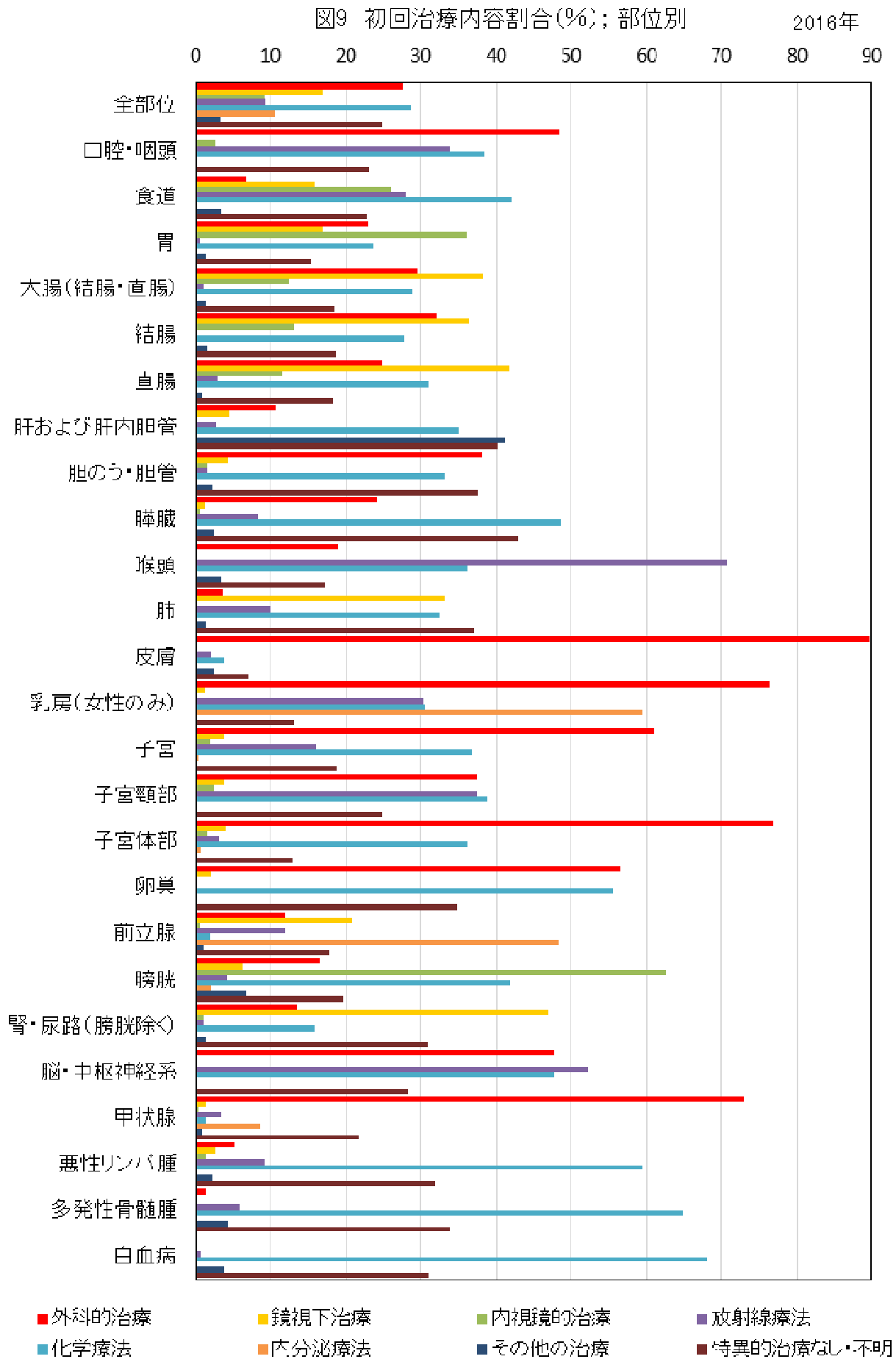
図7 発見経緯



(7) 進展度 (上皮内がんを除く)

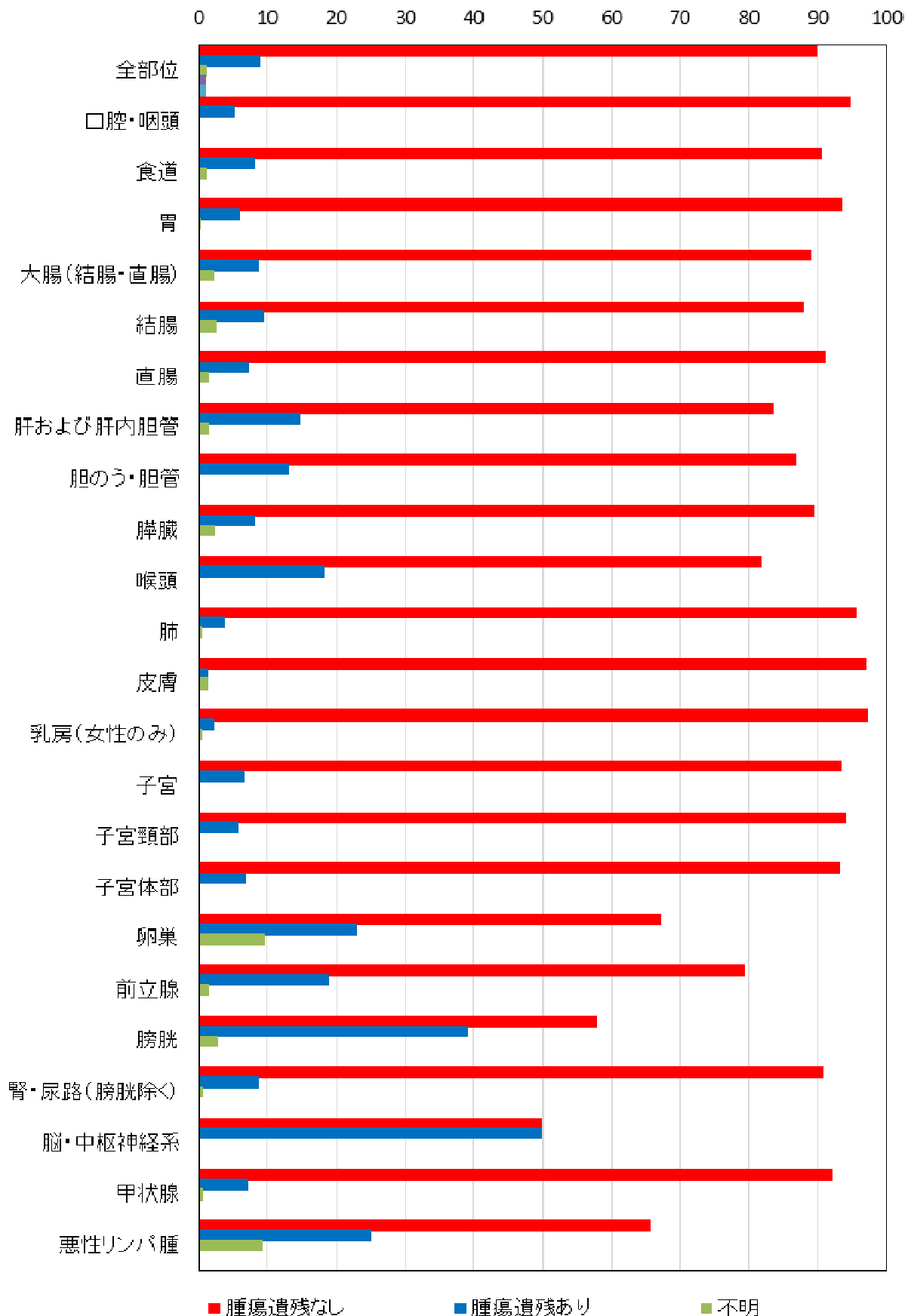


(8) 初回治療内容割合 (上皮内がんを除く)



(9) 外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲（上皮内がんを除く）

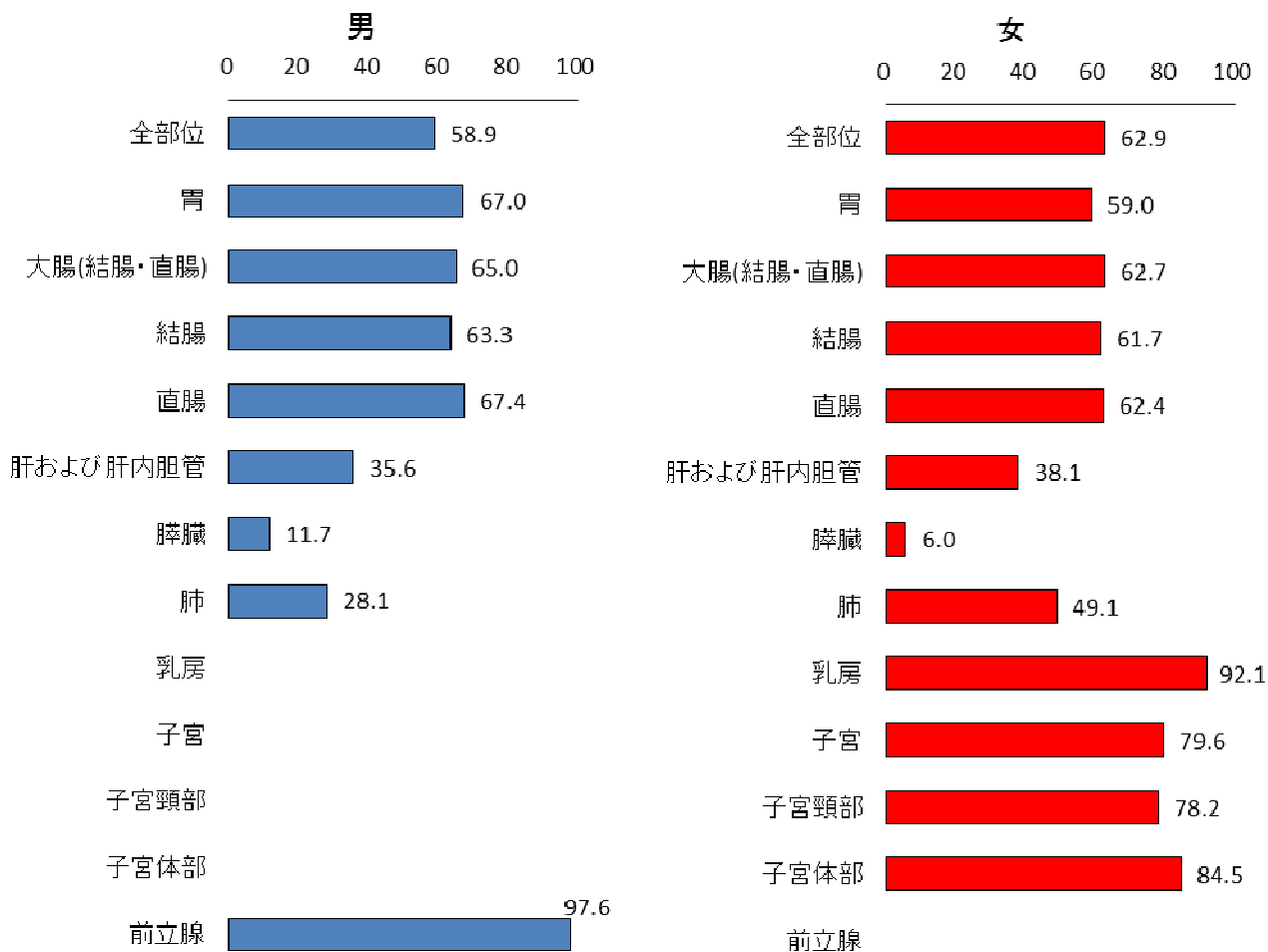
図10 外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲(%); 部位別 2016年



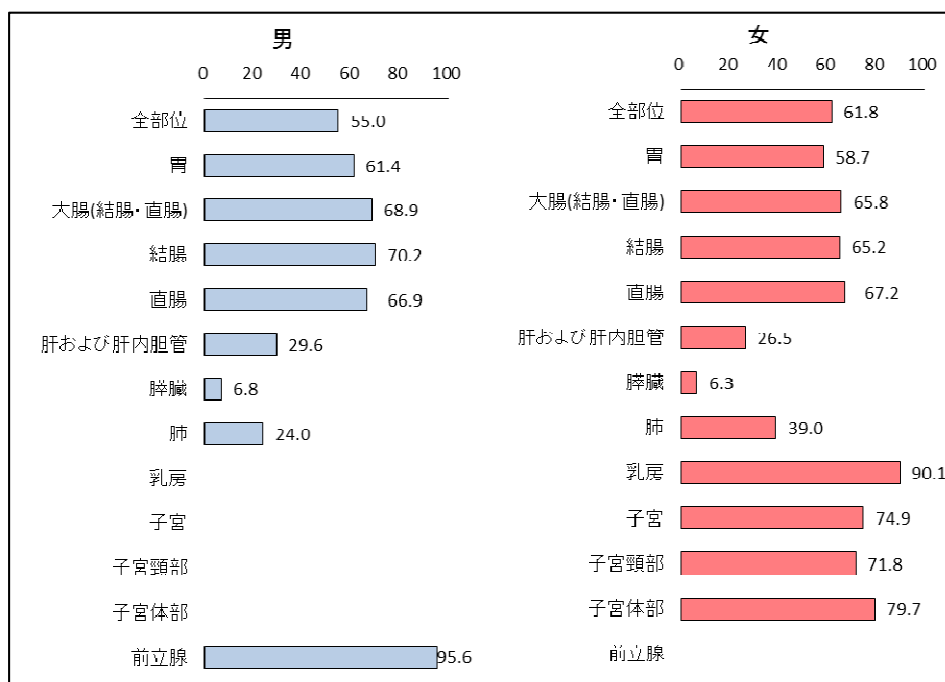
(11) 5年相対生存率(2011年症例)

香川県の5年相対生存率は、全部位において、男性58.9%、女性62.9%である。

図 11



(参考)全国:2006-2008年



## Ⅱ がん死亡統計

### 1. がん死亡数の推移

がん登録の集計結果は、遡り調査等を行うため、罹患年から数年経って公表される。一方、人口動態統計の死因別死亡の状況は死亡の翌年に公表され、より新しい数値を得ることができる。

香川県のがんによる死亡状況は以下のとおりである。

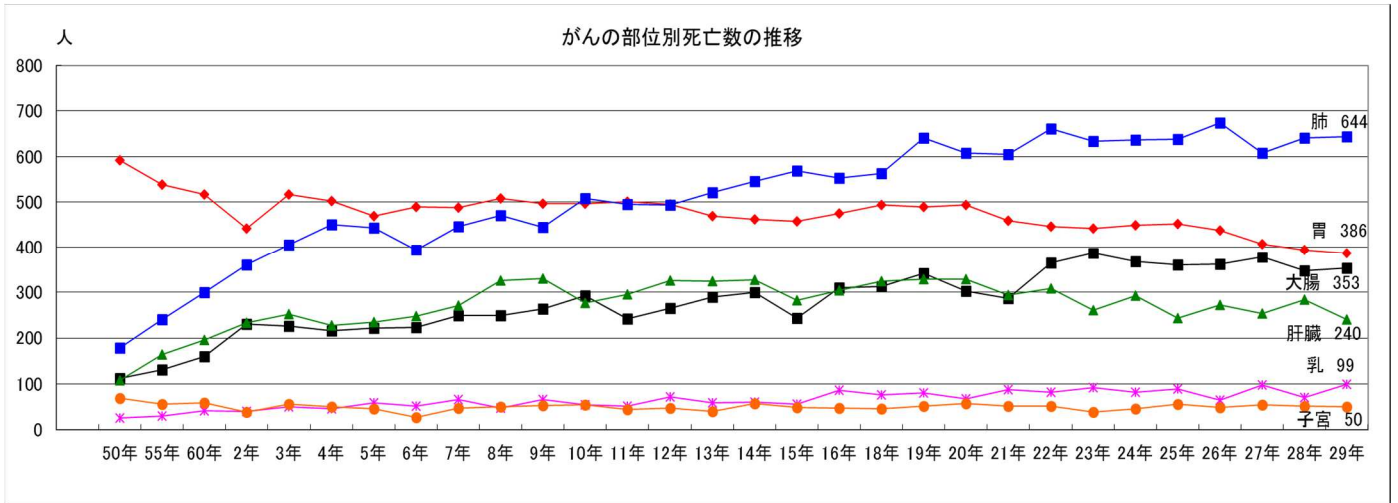
表7 部位別死亡数の推移

死因简单分類		年次	H5	10	15	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
総 数	総数		8,603	9,104	9,556	10,645	10,639	11,064	11,316	11,369	11,512	11,503	11,593	11,908	11,894
	男		4,558	4,796	5,127	5,453	5,477	5,686	5,830	5,697	5,838	5,825	5,785	5,909	5,967
	女		4,045	4,308	4,429	5,192	5,162	5,378	5,486	5,672	5,674	5,678	5,808	5,999	5,927
02100 悪性新生物	総数		2,212	2,569	2,660	2,942	2,852	3,109	2,947	2,983	3,055	3,067	3,024	3,022	2,960
	男		1,330	1,545	1,603	1,764	1,678	1,827	1,721	1,751	1,794	1,856	1,812	1,776	1,754
	女		882	1,024	1,057	1,178	1,174	1,282	1,226	1,232	1,261	1,211	1,212	1,246	1,206
02101 口唇、口腔及び咽頭	総数		-	46	53	52	59	47	51	60	40	56	53	57	57
	男		-	31	34	33	40	29	30	37	28	36	32	37	41
	女		-	15	19	19	19	18	21	23	12	20	21	20	16
02102 食道の悪性新生物	総数		40	57	69	72	83	73	76	87	86	70	91	72	72
	男		31	47	58	59	71	60	54	74	70	53	77	53	58
	女		9	10	11	13	12	13	22	13	16	17	14	19	14
02103 胃の悪性新生物	総数		469	496	457	493	458	446	441	448	452	437	406	394	386
	男		288	313	295	313	286	295	279	290	298	295	266	254	242
	女		181	183	162	180	172	151	162	158	154	142	140	140	144
大腸の悪性新生物	総数		97	293	244	302	287	365	386	368	361	362	378	347	353
	男		62	146	139	163	157	190	191	174	187	184	210	187	174
	女		35	147	105	139	130	175	195	194	174	178	168	160	179
02104 結腸の悪性新生物	総数		-	200	159	205	183	243	268	255	253	238	270	240	232
	男		-	90	88	105	88	122	117	103	114	102	139	118	98
	女		-	110	71	100	95	121	151	152	139	136	131	122	134
02105 直腸S状結腸移行部	総数		-	93	85	97	104	122	118	113	108	124	108	107	121
	男		-	56	51	58	69	68	74	71	73	82	71	69	76
	女		-	37	34	39	35	54	44	42	35	42	37	38	45
02106 肝及び肝内胆管	総数		234	276	282	322	294	309	261	292	243	272	253	284	240
	男		170	196	192	198	176	188	173	191	148	182	178	189	164
	女		64	80	90	124	118	121	88	101	95	90	75	95	76
02107 胆のう及び他の胆道	総数		-	134	163	140	126	148	160	150	162	160	152	148	136
	男		-	59	57	72	61	64	67	66	76	90	76	71	66
	女		-	75	106	68	65	84	93	84	86	70	76	77	70
02108 膵の悪性新生物	総数		127	180	190	247	236	285	243	227	272	248	278	278	258
	男		73	98	100	125	115	147	128	121	138	126	149	132	131
	女		54	82	90	122	121	138	115	106	134	122	129	146	127
02109 喉頭の悪性新生物	総数		-	12	5	6	10	5	11	10	12	5	10	5	9
	男		-	11	3	6	9	5	10	10	12	5	10	5	8
	女		-	1	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1
02110 気管、気管支及び肺	総数		442	507	569	607	605	661	633	636	638	674	608	641	644
	男		340	375	429	461	441	472	457	476	459	489	444	457	468
	女		102	132	140	146	164	189	176	160	179	185	164	184	176
02111 皮膚の悪性新生物	総数		-	5	9	13	10	12	14	14	9	16	12	7	9
	男		-	1	3	6	4	7	9	5	4	9	8	4	6
	女		-	4	6	7	6	5	5	9	5	7	4	3	3
02112 乳房の悪性新生物	総数		59	55	57	68	88	81	94	82	89	65	97	72	100
	男		1	1	2	1	-	-	2	1	-	-	-	2	1
	女		58	54	55	67	88	81	92	81	89	65	97	70	99
02113 子宮の悪性新生物	総数		46	54	49	57	51	51	38	46	56	49	54	51	50
	男		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	女		46	54	49	57	51	51	38	46	56	49	54	51	50
02114 卵巣の悪性新生物	総数		-	43	38	36	40	41	40	37	38	28	32	39	24
	男		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	女		-	43	38	36	40	41	40	37	38	28	32	39	24
02115 前立腺の悪性新生物	総数		-	54	65	77	70	77	68	66	70	76	76	88	73
	男		-	54	65	77	70	77	68	66	70	76	76	88	73
	女		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
02116 膀胱の悪性新生物	総数		-	33	36	51	48	64	44	53	66	53	58	49	65
	男		-	26	25	36	30	47	28	36	48	34	42	36	44
	女		-	7	11	15	18	17	16	17	18	19	16	13	21
02117 中枢神経系	総数		-	13	13	15	18	18	17	19	22	29	31	24	30
	男		-	5	7	7	11	10	13	11	10	16	6	14	15
	女		-	8	6	8	7	8	4	8	12	13	25	10	15
02118 悪性リンパ腫	総数		-	73	92	90	91	99	92	100	111	134	103	116	118
	男		-	45	52	51	55	52	56	43	72	79	61	53	71
	女		-	28	40	39	36	47	36	57	39	55	42	63	47
02119 白血病	総数		47	50	57	81	57	76	66	50	61	72	76	75	72
	男		28	32	35	54	32	50	38	28	32	43	41	43	44
	女		19	18	22	27	25	26	28	22	29	29	35	32	28
02120 その他のリンパ組織	総数		-	30	46	36	39	38	31	35	34	37	31	45	38
	男		-	18	26	17	22	19	20	18	12	22	18	19	23
	女		-	12	20	19	17	19	11	17	22	15	13	26	15
02121 その他の悪性新生物	総数		-	158	166	177	182	213	181	203	233	224	225	230	226
	男		-	87	81	85	98	115	98	104	130	117	118	132	125
	女		-	71	85	92	84	98	83	99	103	107	107	98	101

<総数>

- ・肺がんは横ばいから増加傾向にある一方、胃がんは横ばいから減少傾向である。
- ・大腸がんは、平成22年に増加し、それ以降、横ばい状態にある。

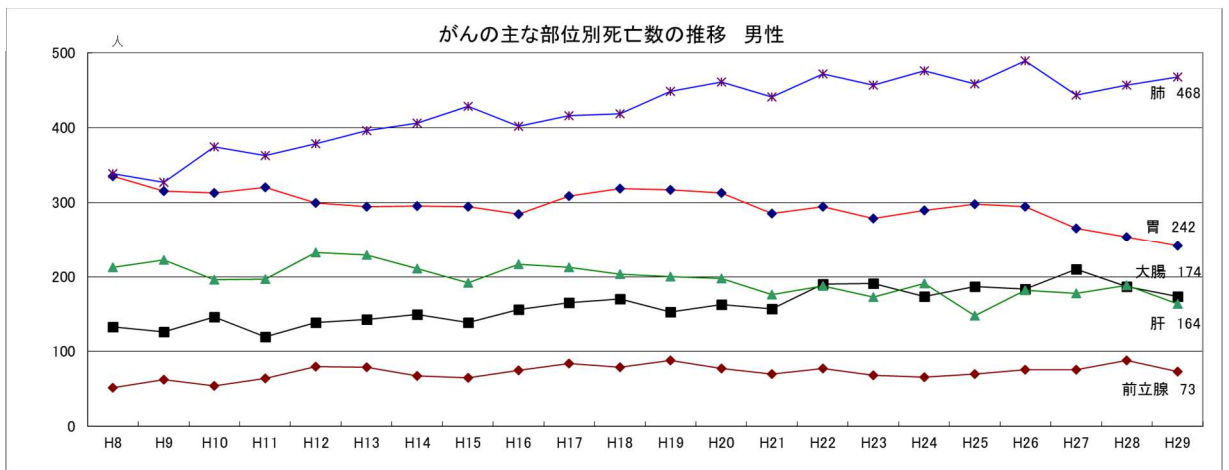
図 12



<男性>

- ・肺がんが最も多く、胃がんが続いて多い。
- ・胃がんが減少傾向で、大腸がんは近年横ばいである。

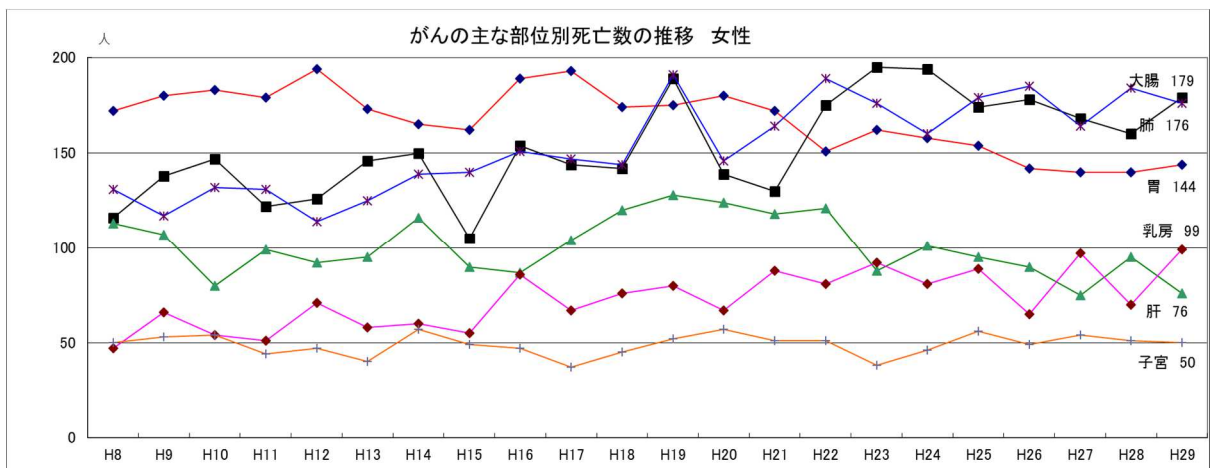
図 13



<女性>

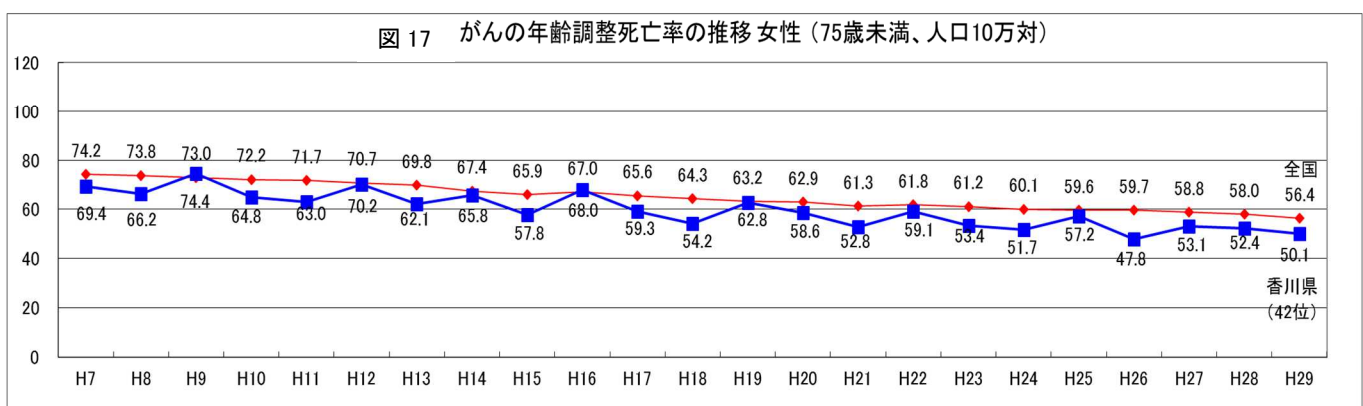
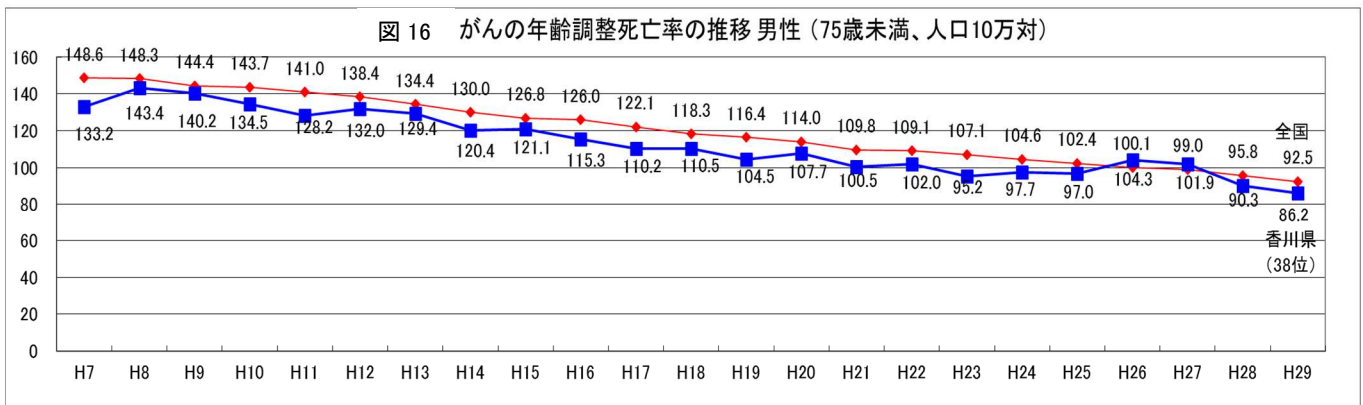
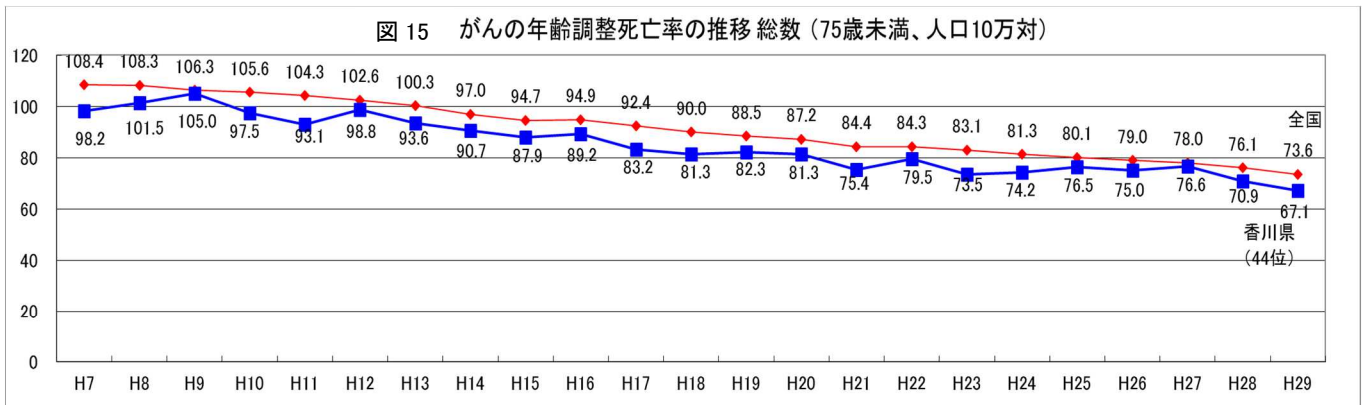
- ・大腸がんが最も多く、肺がんが続いて多い。
- ・胃がんが減少傾向で、大腸がんは近年横ばいである。

図 14



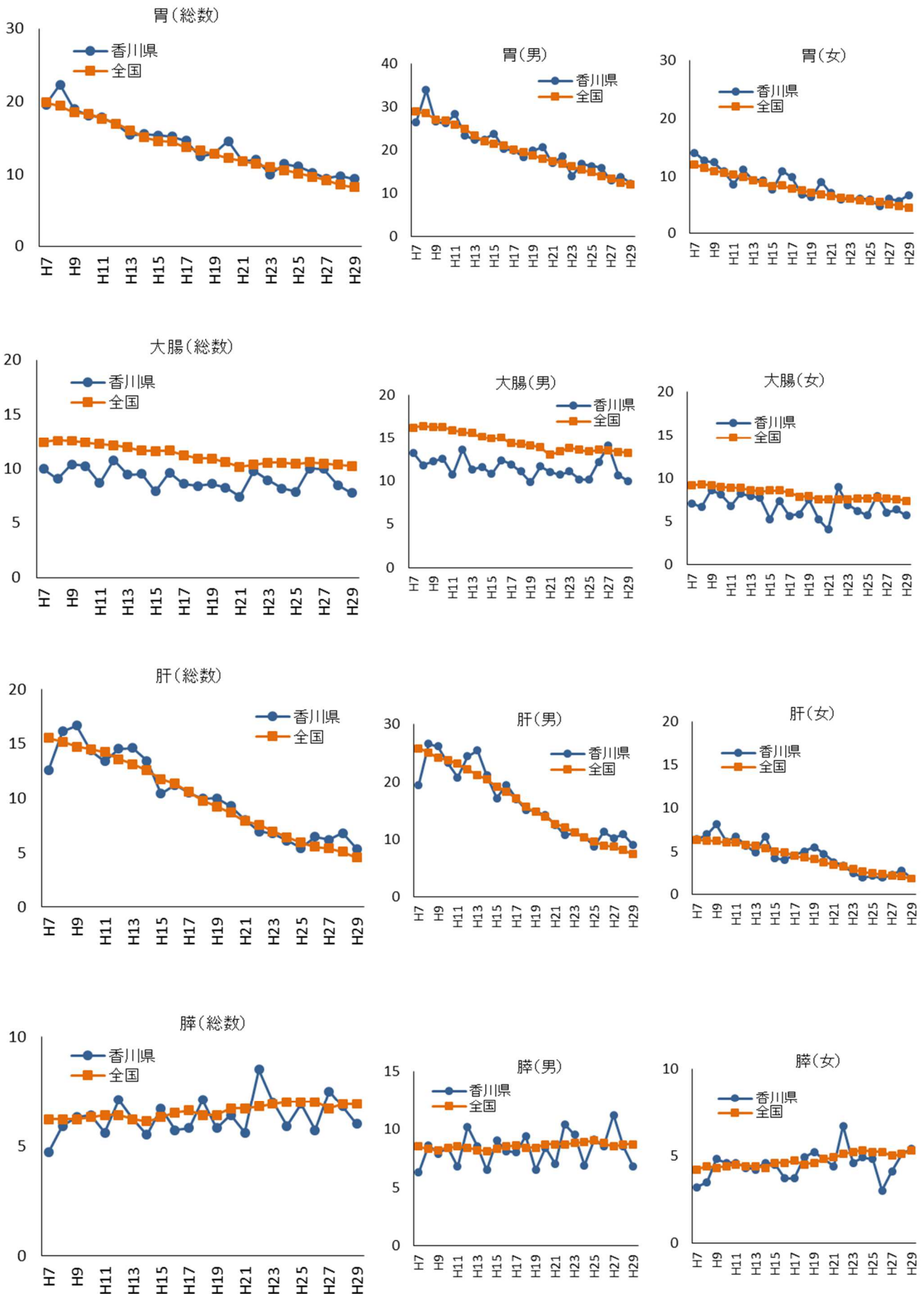
2. がんの年齢調整死亡率 全部位 総数・男女別（75歳未満、人口10万対）

がんの年齢調整死亡率（75歳未満、人口10万対）をみると、年々減少傾向にあり、平成29年では67.1となっています。





3. 主な部位別年齢調整死亡率 総数・男女別 (75歳未満、人口10万対)  
胃～膵 (図18-1)



3. 主な部位別年齢調整死亡率 総数・男女別 (75歳未満、人口10万対)  
肺～前立腺 (図18-2)

